

## ボランティアの力でホダ場を環境改善し露地栽培を再開

放射性物質低減のための栽培管理にかかるホダ場環境改善については、市町村が事業主体となり全力で進めているところですが、当管内では震災復興事業等による人手不足により進捗が思わしくないのが実情です。

今回、伏せ込み作業に間に合わせるため、ボランティアの協力を得て環境改善作業を実施し、露地での原木しいたけ栽培を再開した事例を報告します。



### 1 ボランティアによる作業

大船渡市内において、平成26年8月2日(土)にボランティア9名の協力を得て、環境改善作業を実施しました。

落葉層掻きとり作業は、大船渡農林振興センターの普及指導員による説明の後に、スコップ等を使用し約0.1haを全て手作業で行いました。

協力して頂いたボランティアは、震災復興ボランティアで生産者と縁のあった方々で、首都

圏から深夜バスで駆けつけてくれました。



### 2 伏せ込み作業

ボランティアの協力により、環境改善作業が伏せ込み作業の前に完了することができ、生産者は8月下旬にホダ木の伏せ込みを実施しました。

### 3 おわりに

今回伏せ込んだホダ木から秋子が発生したので、11月17日に出荷制限指示解除のための検査を行い、今年度中に出荷制限解除申請作業に間に合わせる事ができました。

